

出力遅延コンセントBox

UPSS-DBシリーズ

ストレージバックアップソリューションに最適！
容量・形状カスタマイズで自由自在

遅延機能とは？

ストレージとサーバをUPSで同時に電源バックアップする場合、そのままでは復電時(停電が復旧して立ち上がる時)に同時に電源オンされてしまい、サーバがストレージを認識できず手動で再起動しなければなりません。

このようなとき役に立つのが

遅延機能(電源投入に時間差を付ける機能)です。

これにより、サーバがストレージを確実に認識する、また周辺機器を先に立ち上げ安定させてから本体を稼働させる、といったソリューションが可能になります。

UPSソリューションズは、遅延機能標準装備のUPS(UPSS-HPシリーズ、DL9126シリーズなど)および遅延ユニット(PSS-108、Rack Man など)を扱っております。

ただ、上記製品の出力ポートは通常のコンセント(NEMA5-15)であり、容量も制限されてしまう、という欠点がありました。



そこで弊社がご提供するのが、**出力遅延コンセントボックス** UPSS-DBシリーズです。



●出力遅延制御

復電時の出力遅延時間をタイマーで設定できます。

●大容量対応

通常の遅延ユニット・遅延UPSでは複数台必要になる大容量も1台でカバーできるので、コストを大幅に軽減できます。遅延機能のないUPSに端子接続で使用することができます。また、NEMA L5-30などの大型コネクタにも変更できます。

●200V対応

NEMA L6-20、L6-30などの200V系コネクタで作成も可能。200V入力のサーバにも遅延をかけることができます。

●多様なカスタマイズ

容量・コネクタ形状・コンセント数・遅延/スルーの設定などご要望に合わせてカスタマイズを承ります。

お問い合わせは

UPS

Security & Safety Solutions,
Service & Support provider

UPSソリューションズ株式会社

〒101-0032

東京都千代田区岩本町3-4-6 岩本町高橋ビル1F

TEL:03-5833-4061 FAX:03-3861-0920

<http://www.ups-sol.com/>

ups-sales@ups-sol.com

本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。

UPSS200210-DB